

住民意見の整理方法について

流域委員会や河川管理者等に寄せられた意見がどのようにあるべき姿の議論に反映されたかが判るように、審議した内容や結果を住民へ提示することによって、流域委員会が住民意見を聞き放しとはなっていないことを理解して頂く必要があります。

先のオープンフォーラムにおいて、当日発言して頂いたご意見、記入用紙に記載し投函して頂いたご意見をカテゴリーごとに整理し、手順1として次頁に示す一覧を作成致しました。

意見整理例手順1)

様々な意見をカテゴリー毎に整理する。

対象域による分類

- ・円山川流域全体に関わるご意見
- ・個々の地先に関わるご意見 等

意見内容による分類

- ・要望、提案、疑問、体験 等
- ・治水、環境、営み 等
- ・あるべき姿の意見集約フローにおける意見集団毎

意見整理例手順2)

カテゴリー毎に整理されたそれぞれのご意見に対する流域委員会としての対応を明確にするため、意見の反映結果として、以下のような対応例が考えられます。

円山川に対する意見の整理結果例

いただいた意見	流域委員会の対応
・ No の意見 について すべきではないの か？	【円山川のあるべき姿に関わる内容として、 流域委員会で議論】 あるべき姿の意見集約フローの の 意見グループに追加すべきか議論する 等
・ No の意見 による は検討されているのか？	【円山川のあるべき姿に関わる内容として、 流域委員会で議論済み】 あるべき姿の意見集約フローの の 意見と同様として扱う 等
・ No の意見 による を教えてほしい	【河川管理者に回答依頼】
・ No の意見	【流域委員会での議論対象外】
...	...

円山川住民意見の整理

要望

全てを直轄で整備して欲しい。(2, 21)	保水力のある広葉樹を植えることを国、県の事業にしてほしい。(14, 31)
国、県が一体となった治水整備を願う。(4, 26)	通常の増水で浸水しない状態を早く作って欲しい。(15)
遊水地などをたくさん作って被害を少なくして欲しい。(8, 29, 31)	水門の整備を願う。(16, 23)
雨量や水位の観測値、予測値などの情報を早く提供して欲しい。(15)	全川堤防の質の十分な調査(安心できる骨材か)、実のある改修工事を願う。(17)
堤防を道路として活用するようにして欲しい。(1, 5, 14)	恒久的な治水整備を願う。(21)
無堤地区に築堤を願う。(1, 13, 15, 16, 23)	実施計画の早急な樹立。(24)
予報雨量は各流域ごとに絞って予測して欲しい。(3)	堤防を上流域から下流域まで隙間無く完備して欲しい。(26)
緊急対策事業の10年間で整備できる提言を期待している。(4)	長期的には本来の流量調節のための装置、山を大切に教育と実践を防災事業としてお願いする。(26)
上流に合わせた下流の整備を早急に強く願う。(12)	毎年の台風に備えた事前準備を願う。(26)
人間が安心して住める故郷を願う。(23, 24, 29, 31)	天神橋の上は鳥を取り除き、川幅を広くする。(探検をしたような鳥のようなものが沢山ある。)(31)
上流の改修での増水であり、希少動物生物との共生もあるが、人の生活優先を絶対、に進め欲しい。(12, 24)	山崩れを防ぐこと。(31)

提案

稲葉川、八代川などの支川を含んだ河川整備が必要である。(4)	河川の堤防等のみでなく、山、田、河川全般を鑑みて、流域全体での治水対応が必要である。(24)
地域住民の意見も交えて検討しないと本当の改修にならない。(14, 17)	台風23号による被害は、円山川全流域の責任であり、但馬全域の問題としてとらえるべきである。(6)
八代川遊水地帯が宅地化されるなど一貫性がなかった。一貫した河川改修が必要。(14, 24)	フォーラムが平日の昼に行われると人が集まりにくく、幅広い年齢層に聞いてもらえない。(11)
無堤地から高地に生活拠点を移す。道路確保は高架式とする。(1)	昭和30年頃までは低い側の堤防で十分水位が保てた、現在はまったくためである。(12)
上流、小川での対策 = コンクリートから土、極小な遊水地へ。(1)	民地の盛土・開発を促進し、堤防強化を図る。民地と堤防の間の官地は緑地帯または道路とし、緊急時は防災スペースとする。(27)
河川敷を公園等に活用するなら親水性が増し、用地の有効利用を促進し、工事費の有効利用となると思う。(5)	ポンプの機能を活かすために、円山川の水位を低くする。(28)
自然を大切にすることは手を加えずに放っておくということではないのか。(5)	第二円山川を作って久美浜湾に放流し、堤防の決壊を防ぐ。(28)
気象庁予測と河川情報をリンクして、早い水位予測ができないか。注意報(ネット等で流す)につながらないか。(6)	河川敷は大きな木等を切り(洪水時の流れが良い)、酪農家の牧草地として利用しやすいようにするのが良いのではないか。(30)
河川の運営、管理と予算を地元の自治体に移すことで必要な時に必要な改修をできるシステムにすべき。(9)	下流の土砂を取り除くために、土砂採取を土産業者に許可したほうが良いのではないか。(30)
被災時の早期対応や情報提供等のために、行政負担で域内の事業所に防災無線を設置すべきである。(9, 22)	河川敷や中洲の木を取り除き、河道の土砂を撤去した上で堤防の嵩上げをすることが良い。(30)

疑問

用地買収・改修工事は違法であり、この問題を避けた議論は空論である。(3)	フォーラムで提供された意見を委員がどう方向付けるのか? 地区に解答が出るのか?(11)
県の河川事業にも900億円の治水予算は投入されるのか?(4)	円山川の改修率が10%以下とは国土交通省の職務責任になるのではないのか?(12)
今回の計画で川原区は浸水しなくなるのか? 30年後には海抜が変わって根本的に計画が変わるのではないのか?(11)	900億円を投じる改修工事の具体的な内容が不明である。(17)
円山川の築堤の整備が進まないのは軟弱地盤が理由だと思うが、問題を解決する工法はあるのか?(12)	土地の買収から10年経つが築堤が出来ていない。早く作るべきではないか?(18)
急激に水位が上がるのは、上流の整備と保水能力がなくなっているため、森林の問題を含めて総合的な調整ができないのか?(12)	片間樋門の充実と、鳥居にも樋門はできないのか?(31)
遊水地について、具体的な効果の説明が欲しい。(1)	遊水地のような鳥居を守るために防壁はできないか。(31)
緊急治水対策として行われる河道掘削の方法や時期について案内がない。(2)	玄武洞辺りに水を引き込むダムを作ることとは出来ないか。(31)
緊急治水対策の河道掘削が行われる範囲で、流下能力の整合性があるのか? このままで良いのか?(2)	
堤防の嵩上げをもっと高くする必要はないのか? (内水をポンプで流すことができれば被害が大きくなる)(5)	

個々の地先に対する要望・疑問・提案

堤防整備を望む。(奈佐川合流点付近)(1)	八代川の掘削、両岸に盛土とブロック張りを願う。(8)	蓼川井堰で土のうを積み上げて水をせきとめると30cmほど水位が上昇する。(6)	中郷の遊水地計画は対岸でも調整が必要であると思うので、その計画内容について聞きたい。(9)
直轄上流端について、県と整合した整備を望む。(2)	日高北ルートの法線を早く決めて欲しい。(8)	豊岡市外の避難路を確保するため、玄武洞から国府間のJR線路を高架化することを検討すべき。(9)	堤防の補強(拡幅、嵩上げ)計画の将来的にどういう考えで盛り込まれているのか?(9)
八代川遊水計画についてのはっきりした決定を望む。将来は四季の公園的な用地にして欲しい。(5)	出石川合流より下流の早急な改修。(堤防の嵩上げ、堤外の土・樹木の撤去、中洲の撤去)(12)	八木川、大屋川、建屋川などと、稲葉川、八代川などの分水方法が考えられないか(流水時間の長くなる方法)(19)	遊水地計画が地元説明なく実行されるやり方に納得がいかない。(13)
蓼川井堰の可動堰化を望む。(6)	六方川の下流部分の早急な改修。(12, 30)		23号台風による商工会裏・日高区下の2ヶ所の堤防越水や、向日置・多田野谷(右岸)の浸水を解消する計画が緊急治水対策の予算の中でなされているのか?(25)
八代川の内水処理はバック堤等根本的な対策を願う。(7)	本流と出石川について分水を考えて欲しい。(水のためのトンネルなど)(19)		商工会裏・日高区下や向日置・多田野谷(右岸)は集団移転が堤防ができるのか?(25)
松岡井堰を撤去して欲しい。中筋側はポンプアップ、豊岡側は中川水路を利用すればよい。(10)	稲葉川が円山川に無理なく(自然の流れとして合流できるように)一日も早く改修工事をしたい。(20)		
但馬空港の調整池が常に満水で役割を果たしていないので解決を願う。(3)	緊急治水対策の予算の中で、23号台風による商工会裏・日高区下の2ヶ所の堤防越水や、向日置・多田野谷(右岸)の浸水を解消する計画をして欲しい。(25)		
赤坂付近から洪水時の専用流路としてのトンネル化によるショートカット工法で村を守って欲しい。(7)	出石川の寺内橋の上に石堤を作って欲しい。(31)		

体験

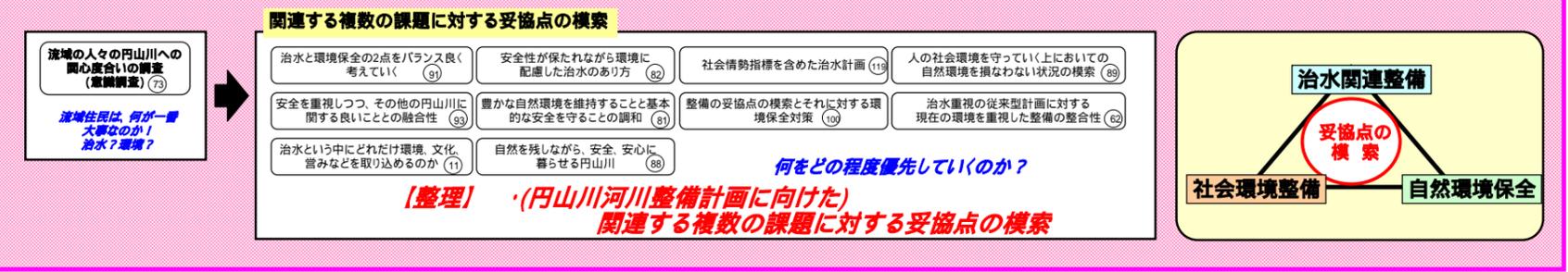
円山川赤崎地区における台風23号での被災体験や被害状況(23)	出石川鳥居地区における台風23号での被災体験や被害状況(29)
---------------------------------	---------------------------------

凡例
① : 参加者からの意見
① : 用紙による意見

委員の意見のまとめ
(委員会、アンケート、ヒアリング)

集約フロー

議論していくべき課題

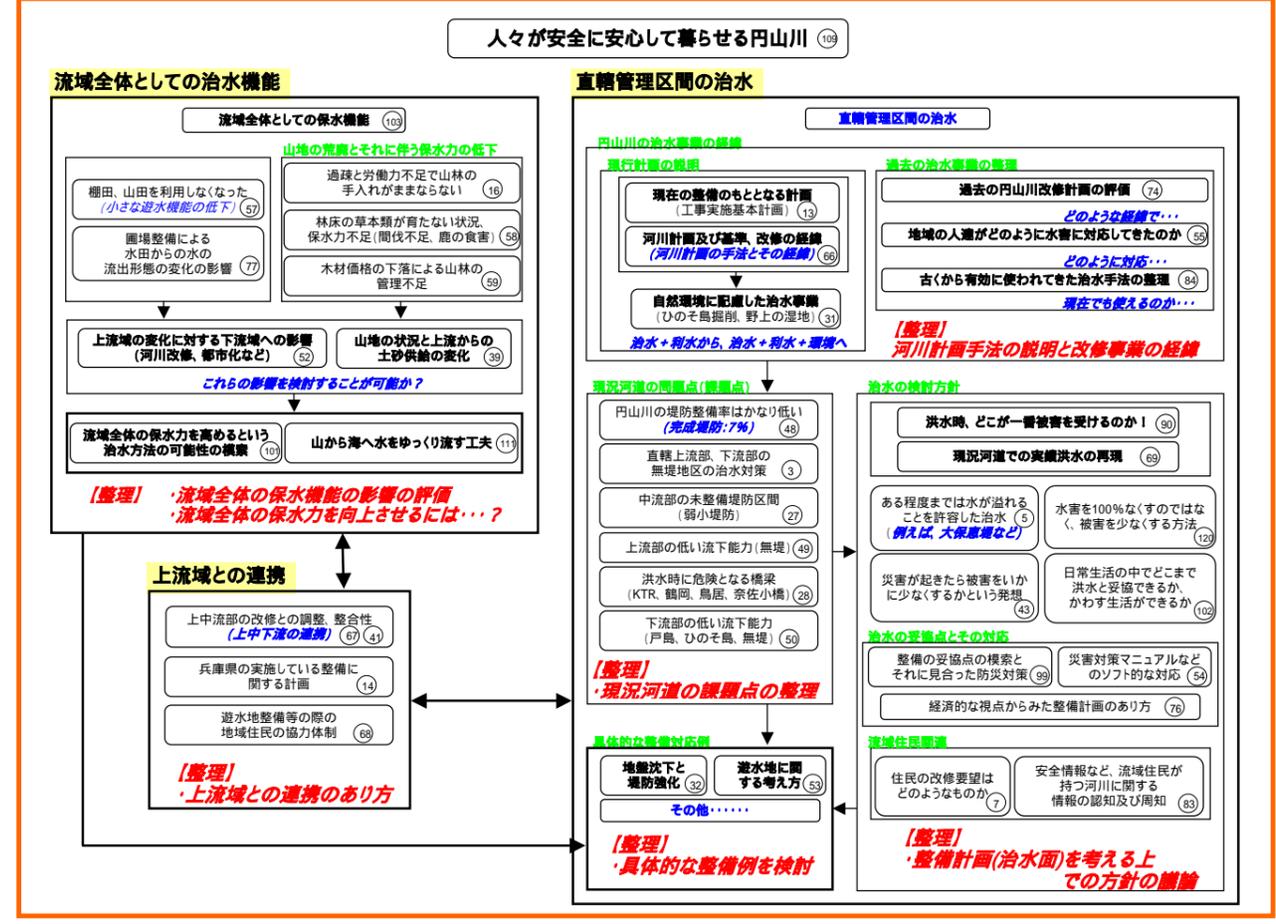


凡例
黒字: 委員会等での意見
黒字: 集団(意見集団)
青字: 補足説明等
赤字: 議論、整理していく内容
 意見の先頭の数字は意見番号

テーマ毎の「円山川のあるべき姿(理想の円山川)」

円山川流域

テーマ1: 住民が安全に、安心して暮らせる円山川



テーマ2: 平常時の円山川との付き合い方

